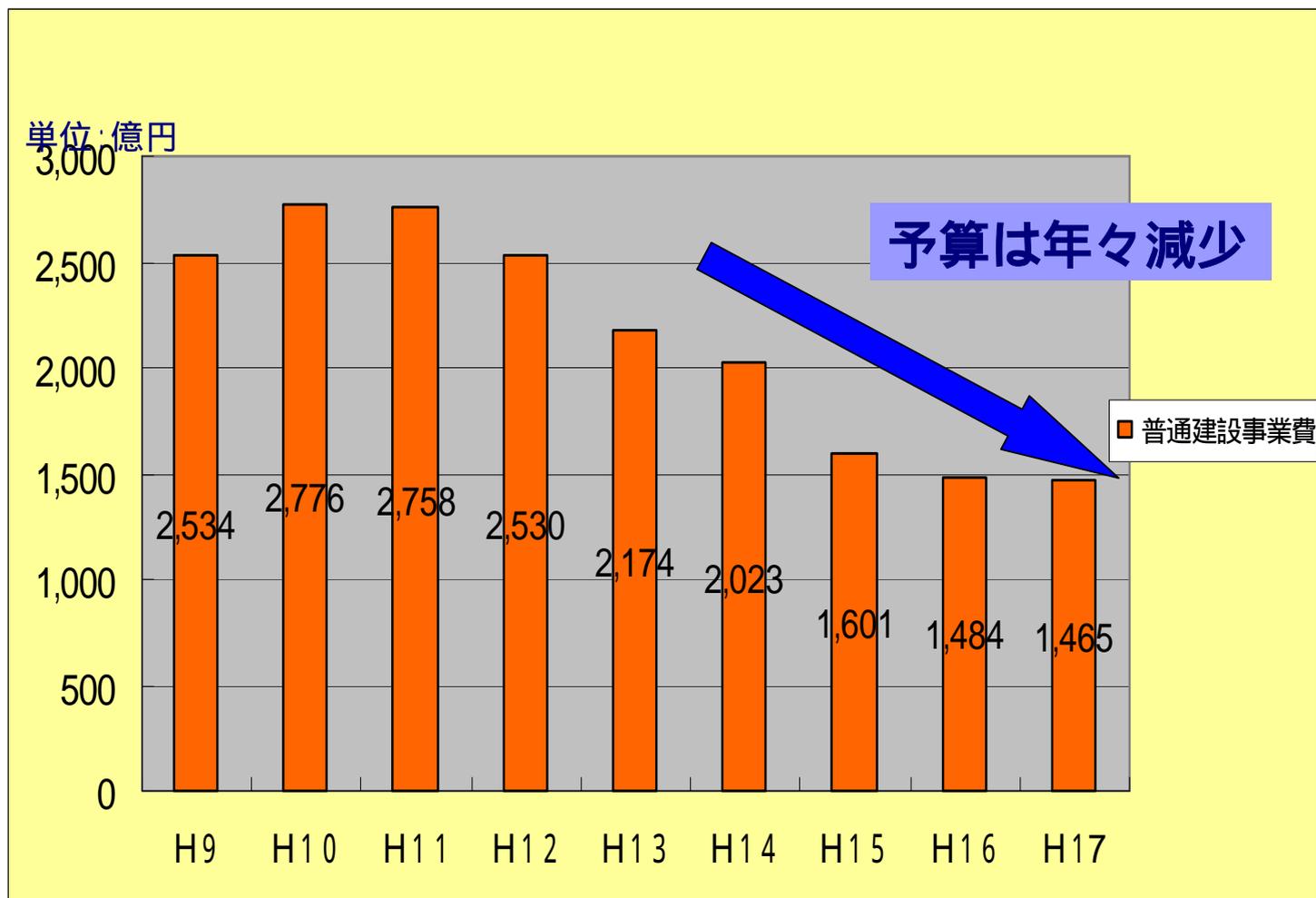


大分県における設計VE導入について

大分県公共事業予算推移 (普通建設事業費)



設計VE導入の目的

コスト縮減

- ・プロジェクトの早い段階での改善により、コスト縮減効果大

コスト以外の問題解決

- ・環境負荷の軽減、地域ニーズの反映、潜在化した問題の発見等

職員の意識改革・技術力向上

- ・現状維持の姿勢から改善意識の徹底へ
- ・ワークショップによる技術継承

VE (Value Engineering) とは？

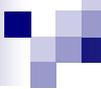
「最低のライフサイクルコストで、
必要な機能を確実に達成するために、製品や
サービスの機能的研究に注ぐ組織的努力である。」

目的

「最低のライフサイクルコストで、
必要な機能を確実に達成するために」
より安く良いものを提供するために

手段

「製品やサービスの機能的研究に注ぐ組織的努力である。」
チームワークを活かし、VE手法を用いて設計等を改善する。



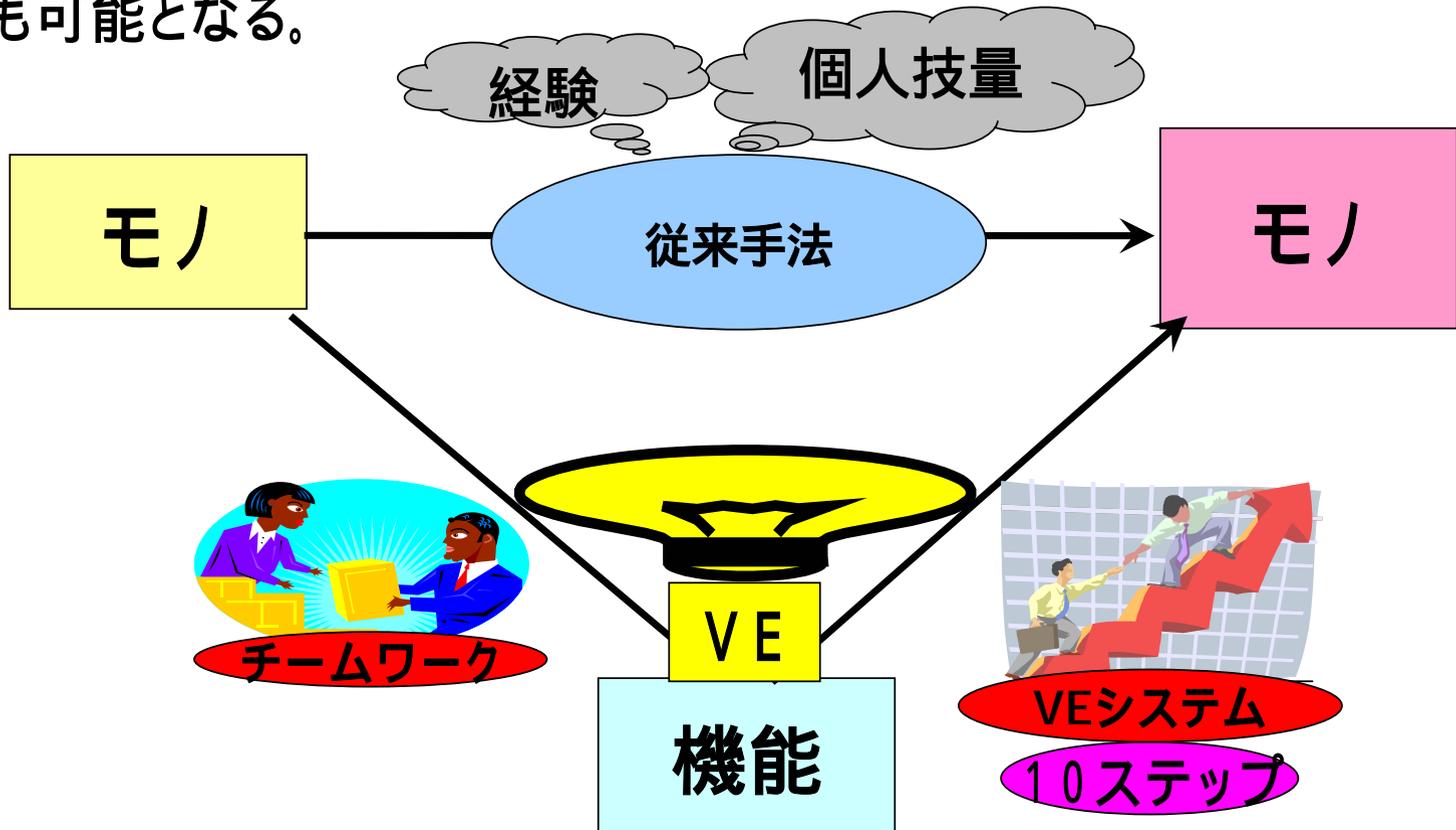
【VEの基本原則】

使用者優先の原則

常に、利用者や住民の立場に立って考え、どのような機能を要求しているのか、何に価値を見出すかを追求することが、VEの基本的姿勢である。

機能本位の原則

VEでは、機能をもとに自由な発想で達成方法を考えるため、根本的、抜本的改善やこれまでになかった方法を創り出すことも可能となる。



【VE基本3ステップ】

【VE詳細10ステップ】 【VE質問】

1,機能定義

VE対象の情報収集

それは何か？

機能の定義

その働きは何か？

機能の整理

2,機能評価

機能別コスト分析

そのコストはいくらか？

機能の評価

その価値はどうか？

対象分野の選定

3,代替案作成

アイデア発想

他に同じ働きをするものはないか？

概略評価

そのコストはいくらか？

具体化

それは必要な機能を確実に果たすか？

詳細評価

設計VE推進スケジュール

具体的施策	H16	H17	H18	H19	H20
【人材育成】 VE実務者研修(設計VE実践能力の習得が目的。) VE管理者研修(トップの理解と支援を得ることが目的。) VEリーダー試験(設計VE実践・管理能力を高める。)		実施			
【VE実績の蓄積】 設計VEの試行(インハウス主導で実施)		順次拡大			
【ルール化】 大分県設計VEガイドラインの作成と更新		内容を更新			
【推進体制】 推進体制の整備 ・監理グループ(建設政策課内) ・推進グループ(事務所及び本庁事業課)		推進体制の整備			

1 人材育成

管理者・監督者研修

対 象： 管理者(土木建築部長、土木事務所長等)、監督者(事務所課長、係長)
平成16年度は127人を対象

目 的： VEの必要性について、理解と支援を得ること

日 数： 管理者(1時間/年)、監督者(2時間/年)

実務者研修

対 象： 中堅技術者を対象、平成16年度は40人、平成17年度は57人を対象

目 的： ワークショップ形式の実習による、VE実践能力の習得

日 数： 2日間/年

VEリーダー試験

目 的： インハウスVEを実施だけでなく、受注者が行う設計VE、工事VEの指導
評価にも必要。

・実務者研修受講者に資格取得を推奨。

・平成16年度は15人合格。

設計VE試行実績(3件)

平成17年12月

番号	事業種別	設計段階	路河川名	事業費 (単位:百万円)	VE改善後 (単位:百万円)	コスト縮減額 (単位:百万円)	コスト縮減率	VEタイプ
1	道路	詳細設計 L = 860m	県道佐伯蒲江線	884	609	275	31%	インハウス+ コンサルタント VE
2	道路	概略設計 L = 5km	県道阿蘇久住公園線	1,811	1,317	494	27%	インハウスVE
3	道路	詳細設計 L = 660m	県道三重弥生線	1,786	1,160	626	35%	インハウス+ コンサルタント VE
計				4,481	3,086	1,395	31%	